



PTAだより

白根高校 令和7年10月29日発行(第102号)



2025年関東地区高等学校PTA大会に参加して

PTA会長 中澤 充彦

2025年7月11日から12日、埼玉県さいたま市の大宮ソニックシティにて「第71回関東地区高等学校PTA連合会大会 埼玉大会」が開催されました。関東7県（東京都を除く）から約1,500名のPTA関係者が集い、学校運営や家庭教育、生徒指導、防災、地域連携といった多様なテーマについて、熱心な議論と情報交換が行われました。会場に足を運んだ私自身も、その熱気と真剣さに圧倒され、PTA活動がもつ意義を改めて実感いたしました。

初日の分科会では、各県の代表校が取り組みを発表しました。現場での実践事例を直接聞くことで、日々の活動に生かせるヒントを数多く得られただけでなく、参加者同士が互いに刺激を受け合う時間となりました。発表後の意見交換では、同じ課題に向き合う仲間として心が通じ合う瞬間があり、地域を越えてつながることの大切さを強く感じました。

二日目には全体会と記念講演が行われました。第170回芥川龍之介賞を受賞された作家・九段理江氏による「対話を終わらせないために」という講演は、家庭や学校、地域の中で「対話を続けること」の大切さを深く問いかけるものでした。静まり返った会場で講師の言葉に耳を傾ける中、私自身も「PTAの本質はまさに対話にある」と胸に刻む思いました。

山梨県からは、甲府西高等学校が代表校として参加し、第3発表校として実践事例を紹介しました。発表内容の詳細は公開されていませんが、堂々と県を代表して登壇する姿に、会場にいた山梨県関係者として大きな誇りを感じました。この発表を通じて、山梨の取り組みを他県に知っていただくと同時に、他校の活動から多くの学びを得ることができました。

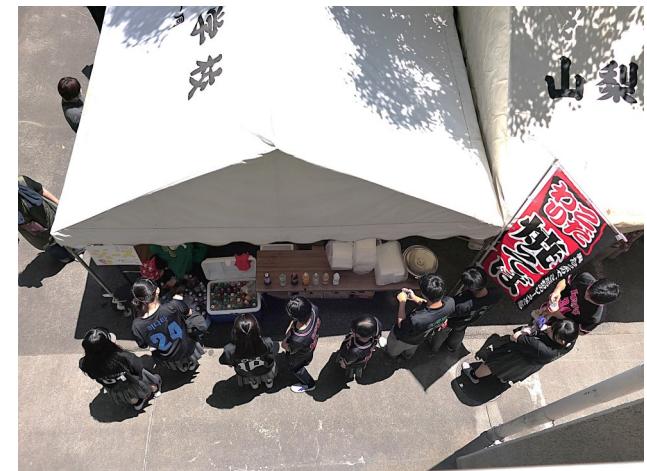
二日間にわたり、多くの参加者と交流を重ねたことで、関東全体のネットワークが広がり、情報共有の重要性を再確認することができました。今回の経験を胸に、今後は県内の活動にも一層力を入れ、学校・家庭・地域のつながりを深めることで、より豊かな教育環境づくりに努めてまいりたいと思わせる有意義な大会でした。



「白根っ子焼きそば」

1年 褒田 周

末っ子の息子が白根高校へ入学し、1学年PTAの総会で、企画広報委員の活動の中に「白根っ子焼きそば」があり、これは参加したいと思い企画広報委員となりました。上の姉、兄の高校ではなかった事で、白根高校では保護者も参加協力して学園祭を盛り上げるということはいい事だと思いました。当日は暑い1日となり、汗だくで焼きそばを焼きました。準備をし販売開始になった途端、あっという間にどんどん作り置きしていた焼きそばが売れていき、高校生という食べざかりの年代にとって、足りるのか心配でした。息子は男子バレーボール部に所属しています。バレーボール部みんなの分を買って渡してあげる事もできました。子供達に携わる事が成長していくと少なくなってきてしまうので、このような保護者参加の行事があることは、私にとって良い思い出になりました。



白根っ子焼きそばに参加して

2年 中澤 輝行

令和7年6月20日、白根祭の伝統ある「白根っ子焼きそば」へ参加いたしました。当日、天候も良く、大きい鉄板で汗を流しながら焼きました。PTA会長さんを中心に役員のみなさん、先生方、保護者のご協力をいただきながら無事に行なうことが出来ました。

高校生ともなると生徒と顔を合わせ、笑顔を見ながら行事を行うことは少なく貴重な経験で、物価高騰が続く中、破格の金額で生徒も買いやしくWin-Winで出来たと思います。

ある買い物に来た生徒に、「来年もやってくださいね」と言われたとき、必ず来年も参加して生徒のために焼きそばを焼こうと、ソースの匂いがする汗をぬぐいながら心に決めました。



全国高P連三重大会のご報告

校長 伊藤 裕之

第74回全国高等学校PTA連合大会は、大会テーマ「出会いはじまる常若のくに」のもと、8月21～22日に日硝ハイウェーアリーナ、メッセウイングNHWで開催されました。私はオンラインで参加させていただきました。開会式は、三重県立四日市商業高校のギター・マンドリン部による華麗な演奏で幕開けとなり、三重大会実行委員長の小野喜照様の挨拶、全国高P連会長の田名部智之様の式辞、文部科学副大臣の武部 新様の来賓祝辞で始まりました。分科会は「子育て・親育て」「学校・教育」「進路・キャリア」「PTA活動」の四つの分科会に分かれて開催されました。それぞれ熱心な発表や話し合いがおこなわれました。

講演会は、「あずきバー」アイスで有名な井村屋グループ（株）会長兼CEOの中島伸子様による記念講演でした。一万人の子ども達を対象にあずきを使う食育運動や、日本の食材を世界に広めていきたいというお話、5年間保存可能なようかんの開発、さらに環境対策にも力を入れており、食品ロスがないようにリサイクルセンターを開設したという、なかなか聞くことのできない貴重なお話をいろいろ伺いました。

さらに、多様性を大切にすることによって発展性があること、学ぶことによって広がる人生の可能性や、子ども達の成長をみんなで応援していくこと、心の中のカギを出して、扉を開けていくことの大切さをお話してくださいました。「一人の100歩より100人の一步」という多様性を生かした考え方や、働くことは家族やチームがエネルギーであり生きていること自体が尊いことであるなど、大変よいお話をたくさん拝聴することができました。

これからの時代は、答えのない問題に対してどのように発想して理論的に説明できるか、思考力や発想力の「のびしろ」が大切というお話は、特に心に残りました。本校の生徒の皆さんにも、確かな学力をはじめさまざまな「のびしろ」が伸ばせるように、これからも全校でサポートしていきたいと思います。

日頃から本校PTAの皆様には、さまざまな面で学校運営にご協力ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。学園祭をはじめとしたさまざまな学校行事において、PTAのご協力をいただき、見守っていただけ

ることは生徒にとりましても、教職員にとりましても大変有難いことです。そのようなご尽力やこれまでの功績が認められ、昨年は「全国PTA連合会表彰」を受賞することができました。PTA会長様をはじめ役員の皆様、PTA全員の皆様の変わらぬ温かいご支援を賜りますよう、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



白根っ子焼きそば_2025

3年 太田 孝彦

名称変更になり、初めての学園祭行事となりました。私は3年連続で参加させていただきましたが、2回の経験を生かし協力させていただきました。保護者の方々・先生方には打合せ、仕入れ等事前準備をはじめ当日の販売や片付けに至るまで、大変なご尽力により無事に終了することができました。焼きそばをはじめフランクフルト・飲料の販売は前年に比べ全体的に量も多く販売し、不足した感なく希望に添えるよう適度に提供できたと思います。

他の展示物や催しは観る事はできませんでしたが、中庭での催しは観る事ができました。「アームレスリング」「カラオケ」「スウィーツ販売」など生徒たちが主体的に行動し、楽しんでいる様子が観られて嬉しく思いました。

今年は1・2年生の保護者に準備や段取り、販売等の助言をしたりと補佐役が多かったように感じました。年々と精度や効率が上がって行くと思います。歴代の役員・保護者・先生方の協力や支援によって伝統は作られていく事を改めて痛感しました。これからも一致団結して生徒たちのために継続して行って欲しいと思いました。皆様ありがとうございました。



編集後記

PTAだよりをお読みいただきありがとうございます。

たくさんの方にご協力いただいた『白根っ子焼きそば』本年も大盛況でした。これもご協力いただいた、保護者の皆様のおかげです。広報委員一同心より感謝申しあげます。今後も人と人のつながりを大切にし、PTA活動が充実したものになるよう、頑張っていきますので、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

企画広報委員 2年 高野 享子